

レジメン番号	レジメン名	コメント
10C0006	悪性黒色腫イピリムマブ	イピリムマブ:3mg/kg day1 3w毎 4回まで ※処方医はE-learningが必要
10C0008	悪性黒色腫IFN300(維持療法)	IFN-β:300万単位/body day1 ※術後療法投与終了日から最低3週間は空ける
10C0009	悪性黒色腫IFN300(術後療法)	IFN-β:300万単位/body day1 ※5~10日間連続投与する。最終投与日から3週間隔で3~5コース行う。
10C0010	悪性黒色腫ペムブロリズマブ	ペムブロリズマブ:2mg/kg day1 3w毎
10C0011	悪性黒色腫ダカルバジン療法 (1日投与、イメンド)	DTIC:1000mg/m <sup>2</sup> day1 3w毎 ルートも含め、遮光で投与すること。 また、刺入部を温庵
10C0012	悪性黒色腫CBDCA+PTX (イメンド)	CBDCA:AUC=6 day1 PTX:200mg/m <sup>2</sup> day1 3w毎
10C0015	悪性黒色腫ニボルマブ(80mg/body)+イピリムマブ (3mg/kg)	ニボルマブ:80mg/body day1 イピリムマブ:3mg/kg day1 3w毎 ※併用4コース終了3週後から、ニボルマブ単独(240mg/body) (2w毎) 投与を繰り返す
10C0016	悪性黒色腫ニボルマブ(240mg/body)	ニボルマブ:240mg/body day1 2w毎
10C0017	悪性黒色腫ペムブロリズマブ(200mg/body)	ペムブロリズマブ:200mg/body day1 3w毎
10C0018	悪性黒色腫ペムブロリズマブ(200mg/body)(術後補助療法)	ペムブロリズマブ:200mg/body day1 3w毎 ※術後補助療法の場合は、投与期間は12ヶ月までとする。
10C0019	悪性黒色腫ニボルマブ(240mg/body) (術後補助療法)	ニボルマブ:240mg/body day1 2w毎 ※術後補助療法の場合は、投与期間は12ヶ月までとする。
10C0020	悪性黒色腫ペムブロリズマブ(6週毎)(400mg/body)	ペムブロリズマブ:400mg/body day1 6w毎
10C0021	悪性黒色腫ペムブロリズマブ(6週毎)(400mg/body) (術後補助療法)	ペムブロリズマブ:400mg/body day1 6w毎 ※術後補助療法の場合は、投与期間は12ヶ月までとする
10C0022	悪性黒色腫ニボルマブ(4週毎)(480mg/body)	ニボルマブ:480mg/body day1 4w毎
10C0023	悪性黒色腫ニボルマブ(4週毎)(480mg/body)(術後補助療法)	ニボルマブ:480mg/body day1 4w毎 ※術後補助療法の場合は、投与期間は12ヶ月までとする。
10F0001	血管肉腫パクリタキセル	PTX:100mg/m <sup>2</sup> day1,8,15,22,29,36 8w毎
10F0002	【適外】血管肉腫weeklyドセタキセル	DOC:25mg/m <sup>2</sup> day1,8,15 4w毎

10F0003	【適外】肉腫VAC(イメンド)	VCR:1.5mg/m <sup>2</sup> (max 2mg/body) day1,8,15 CPA:1200mg/m <sup>2</sup> day1, ACT-D:0.045mg/kg(max 2.3mg/body) day1 放射線療法中はACT-Dは投与しない
10G0001	皮膚腺Weeklyドセタキセル	DOC:25mg/m <sup>2</sup> day1,8,15 4w毎
10G0003	皮膚腺Weeklyパクリタキセル	PTX:80mg/m <sup>2</sup> day1 1w毎
10G0004	皮膚腺Low dose FP (イメンド)	CDDP:10mg/body day1-5 5-FU:600mg/m <sup>2</sup> day1-5 4w毎
10G0021	血管肉腫Monthlyドセタキセル	DOC: 60mg/m <sup>2</sup> day1 4w毎
10I0001	メルケル細胞アベルマブ	アベルマブ:10mg/kg 2w毎 ※適応：根治切除不能なメルケル細胞癌
10I0002	【適外】メルケル細胞CDDP+ETOP (イメンド)	CDDP:25mg/m <sup>2</sup> day1-3, ETOP:100mg/m <sup>2</sup> day1-3 3w毎 標準量開始基準:Neut ≧ 1500、PLT ≧ 10万、CCr ≧ 60 CCr 45-59はシスプラチンを80%に減量 放射線療法を同時併用することもある
10I0003	【適外】メルケル細胞CBDCA+ETOP(イメンド)	CBDCA:AUC=5 day1 ETOP:100mg/m <sup>2</sup> day1-3 3w毎 標準量開始基準:Neut ≧ 1500、PLT ≧ 10万 放射線療法を同時併用することもある
10J0001	有棘細胞CPT-11	CPT-11:100mg/m <sup>2</sup> day1,8,15,22 6w毎 WBC 3000以上、PLT 10万以上
10J0002	有棘細胞WeeklyCDDP+RT (プロイメンド)	CDDP 40mg/m <sup>2</sup> day1 1w毎 RT:2Gy/回 1日1回週5回
10J0003	有棘細胞CDDP+ADR (プロイメンド)	CDDP 75mg/m <sup>2</sup> day1 ADR 50mg/m <sup>2</sup> day1 3w毎 ※ADRの総投与量が500mg/m <sup>2</sup> を超えない
10J0004	【適外】有棘細胞CDDP+5FU (80-800) (プロイメンド)	CDDP:80mg/m <sup>2</sup> day1 5-FU:800mg/m <sup>2</sup> day1-5 4w毎
10K0001	基底細胞CDDP+ADR (プロイメンド)	CDDP 75mg/m <sup>2</sup> day1 ADR 50mg/m <sup>2</sup> day1 3w毎 ※ADRの総投与量が500mg/m <sup>2</sup> を超えない